

## 2021年度第2回委員会議事録

1. 日 時：2021年9月8日(水) 11:00～12:00
2. 場 所：On-line[Zoom]会議
3. 出席者(敬称略)：康委員長、工藤委員、大川委員、三浦委員、橋口委員、岡田委員、田畑委員、萩原  
欠席者(敬称略)：柳原委員、菊池オブザーバー
4. 配布資料：
  - ・2021年度 第1回国際交流委員会議事録
5. 議事
  - 1) 審議事項
    - (1) 2021年度第1回委員会議事録(2021年4月17日)の承認
      - ・前回委員会の議事録に関しては、すでにメール配信を実施して意見をいただいているが、改めて内容を確認し資料の通りで承認された。
    - (2) 新任委員の紹介（康委員長）
      - ・新任の橋口委員、柳原委員、田畑委員、岡田委員について各推薦者から紹介があり、新任委員から自己紹介があった。
    - (3) 本年度大会(横浜)3つの国際シンポの実施について  
大川委員から、シンポジウム5（当委員会企画）について進捗状況の以下の通り報告があった。
      - ・大会最終日の開催で、司会進行は工藤委員と大川委員が担当する。
      - ・4名の演者：大川龍之介先生(日本)／Mohd Nazil Salleh(マレーシア)／Vu Quang Huy(ベトナム)／Bernard U. Ebuena(フィリピン)の紹介があった。
      - ・海外の3名の演者からは、既に講演動画を入手済み。
      - ・当日は、大川先生は会場にて講演し、海外3名の先生については動画を放映する。
      - ・英語のスピーチに対して、翻訳会社にて英語文字おこしを実施している。
      - ・遠隔対応のZoom利用は、学会会場と海外の3演者のみの参加となる。  
シンポジウム5については、ウェビナー形式で海外各国の関係者にもリアルタイムで聴講できる形式にできるかを確認している。(ウェビナー変更の経費が分かり次第、メールにて審議し康委員長が判断する)
      - ・ウェビナー形式を採用する場合には、和田理事長と柳原大会長に萩原から了解を得ることとした。
      - ・別件で、海外から当会の会員になりたい希望メールがあった件について進捗確認があった。事務局に確認することとした。(現状、海外会員はAye Aye Khin先生のみ)
      - ・シンポジウム5の宣伝用パンフレット(ポスター)に、ウェビナーURLを掲載しアナウンスする。

残り 2 つのシンポジウムについては、大会終了後に国際交流委員会動画配信サイト(vimeo)でオンデマンド配信する URL を記載することとした。

- ・ 宣伝用パンフレット(ポスター)に関して若干の修正をした後に、委員会にて確認した上で海外に配信することとした。

国際シンポジウム 1(NCGM 共同セッション)に関して以下の議論があった。

- ・ ウェビナー経費が 10 数万円の許容範囲であれば、国際シンポジウム 1 もウェビナー対応としたい意向を事務局に連絡することとした。
- ・ 当日のシンポジウム内容をビデオに収録し教育資料として利用することに関しては、今後の委員会にて検討することとした。
- ・ NCGM の 3 演者の先生は、当日学会会場に来られて発表するの否か、三浦委員から確認し委員会・事務局に情報共有することとした。

#### (4) 本年度下半期の活動についての意見交換

- ・ 今のコロナ禍では、下期の活動をこれから企画するのは困難との判断となった。

#### (5) 来年度活動計画

- ・ NCGM との共同活動およびプロジェクトへの応募については、継続して検討するとした。
- ・ コロナ禍の継続で来年度の実施は困難かもしれないが、海外現地での交流事業も並行して検討することとした。(大会時の開催とは別にシンポジウム企画の開催も視野に入れる)
- ・ JACLaS との共同活動については、本年度目立った進展はない。JACIAS・国際化推進委員会と、年 1 回の合同委員会を定例開催することとし、合同委員会に先立って両委員長同士の事前打ち合わせ会を打診することとした。

#### (6) 特別賛助会員への活動報告会開催について

- ・ 年 1 回開催することとなっており、前年度と本年度の特別賛助会員に対して、前年度の活動／本年度の活動状況／来年度の活動計画を報告する必要がある。
- ・ 昨年度および本年度は、コロナ禍で特殊な状況にあり十分な活動が叶っていないため、2 年間で総括する形とし、来年度の活動計画を次回委員会で検討した上で開催することとした。

#### (7) 特別協賛企業の現状（今年度の減少と来年度への対策）

- ・ 今年度の入金は、シスメックス株式会社のみ。
- ・ 特別賛助会員企業に対して、次年度の会費請求の仕方を見直す必要があるとの意見があった。  
→ 委員会後に事務局確認：既特別賛助会員には、賛助会費と特別賛助会費を合算した請求書にて継続請求を行っている、とのこと。
- ・ 賛助会員企業に対して、特別賛助会員への一層の理解と協力を求めることとした。

#### (8) 新委員長について（康委員長）

- ・ 康委員長より、来年度の委員長に橋口委員を推薦する提案があり、総員から賛同が得られ了承された。

- ・康委員長には、引き続き委員として継続をお願いすることとし了承された。

(9) 次回委員会の開催

- ・大会期間中に委員会の開催が予定されていたが、大会が終わって10月末頃に委員会を開催し、シンポジウムの総括と来年度の活動計画を検討することとした。

(10) その他

- ・特に発言はなかった。

以上

(記録：萩原)